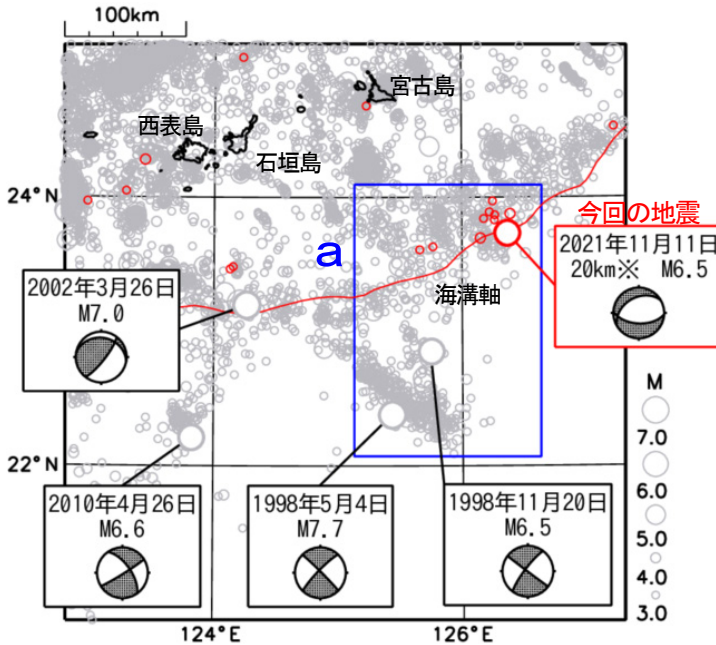


11月11日 宮古島近海の地震

情報発表に用いた震央地名は〔沖縄本島南方沖〕である。

震央分布図
 (1998年1月1日～2021年11月30日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2021年11月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解

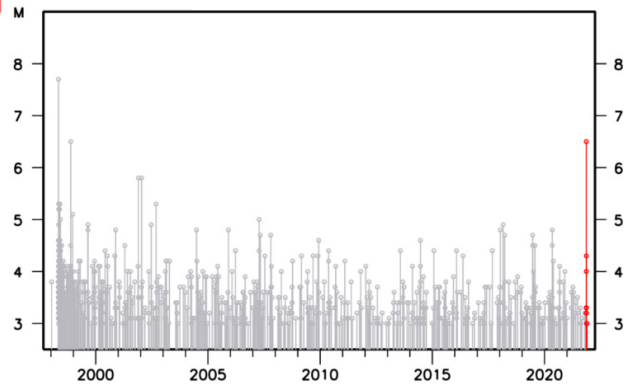


※今回の地震の深さはCMT解による

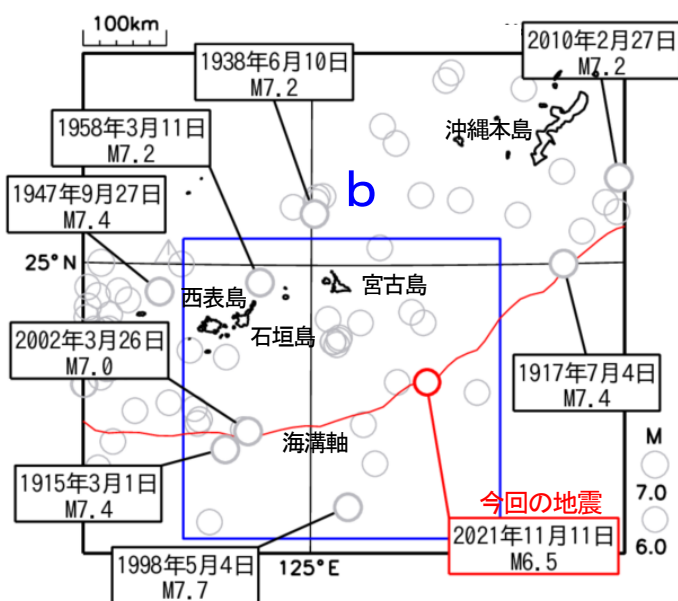
2021年11月11日00時45分頃に宮古島近海の深さ20km (CMT解による) でM6.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1998年1月以降の活動をみると、この地震の震央周辺 (領域a) では、M6.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1998年5月4日のM7.7の地震 (最大震度3) では、那覇・与那国島久部良で微弱の津波を観測した。

領域a内のM-T図



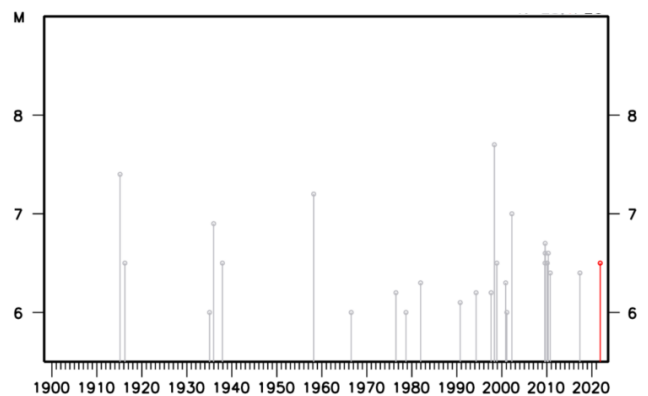
震央分布図
 (1900年1月1日～2021年11月30日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
 2021年11月の地震を赤く表示



(震源要素は、1900年～1918年は茅野・宇津 (2001)、
 宇津 (1982, 1985) による※)

1900年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M7.0以上の地震が4回発生している。このうち、2002年3月26日に発生したM7.0の地震 (最大震度1) では、与那国島久部良で6cmの津波を観測した。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

※宇津徳治 (1982) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.
 宇津徳治 (1985) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.
 茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.